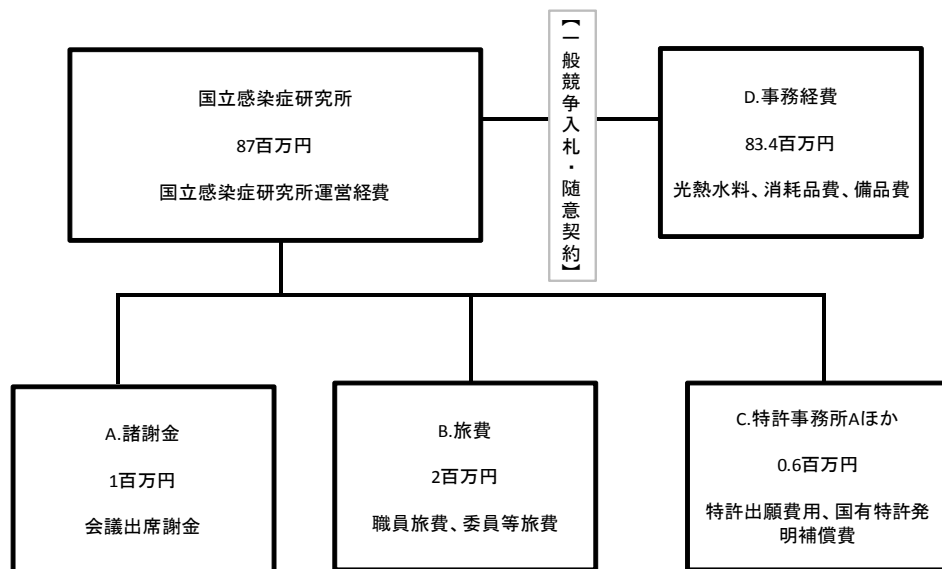


平成27年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	国立感染症研究所運営経費			担当部局庁	国立感染症研究所		作成責任者			
事業開始年度	昭和50年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	総務部会計課		猪股 研次			
会計区分	一般会計			政策・施策名	XI-1-1 国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保すること					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する計画、 通知等	-					
主要政策・施策	医療分野の研究開発関連、科学技術・イノベーション			主要経費	文教及び科学振興					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国立感染症研究所が試験研究を行うために必要な基盤を整える。									
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	国立感染症研究所の業務として各種委員会の開催、学会出席、特許に係る業務等を行う。									
実施方法	直接実施									
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求			
		補正予算	-	-	-	-				
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-				
		予備費等	-	-	-	-				
		計	104	98	87	103	103			
	執行額	104	98	87						
	執行率(%)	100%	100%	100%						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標			単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27 年度
	目標値として3.5点以上の獲得を目指す。		毎年行っている研究課題評価の総合点を間接指標として用いる。(26年度の点数はまだ公表していない。)		成果実績	点	4.2	4.4	集計中	
					目標値	点	3.5	3.5	3.5	3.5
					達成度	%	120%	126%	集計中	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	特許出願件数		活動実績	件	6	6	4			
			当初見込み	件	5	5	5	5		
単位当たり コスト	算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込		
	執行額/特許出願件数		単位当たり コスト	百万円	17.3	16.3	21.8	20.6		
			計算式	X/Y	104/6	98/6	87/4	103/5		
平成27・28年度予算内訳 (単位:百万円)	費目		27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由					
	諸謝金		1	1						
	旅費		1	1						
	庁費		15	15						
	国有特許発明補償費		0	0						
	試験研究費		86	86						
	計		103	103						

事業所管部局による点検・改善						
		項 目		評 価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	保健医療の向上や感染症に関する研究を行うことが国立感染症研究所の責務であり、国費の投入が必要。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	感染症法に基づく国の責務を踏まえ実施している事業であるため。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	国民の健康を守るために必要な試験研究等の実施に必要な施設の維持管理であり、優先度は高い。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	会計法に基づき適切に契約を行い、競争性を確保している。引き続き一般競争入札における参加者数の確保に努める。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。			○	昨年度より減少したが、引き続きコスト削減に努める。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	事業の適切な遂行について、必要な経費に限定されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-	-	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか			○	少額の随意契約であっても複数社から見積書を徴収し、最低価格で購入するなど、コスト削減に努めている。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか			○	成果実績が成果目標以上になっているので見合っている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○	事業計画時に見込んだ内容を概ね達成できている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			○	整備されている施設については利用率も高く、十分に活用されている。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-	当該事業は、研究の基礎的支援業務を行う事業である。国立感染症研究所共通経費は各研究部に共通する経費を扱う事業であるため役割が異なる。	
	所管府省・部局名		事業番号	事業名		
	厚生労働省国立感染症研究所		889	国立感染症研究所共通経費		
	-		-	-		
点検・改善結果	点検結果	主要な保守点検業務は原則一般競争入札により発注した。それ以外についても個別に実績・技術等を勘案した複数の業者の競争見積にかけ随意契約により年次点検・整備を行った。また、警備業務、機械設備維持運転委託費及び動物飼育については、村山庁舎と一括で一般競争入札に付することにより支出の削減と効率的な運用を図っている。また、機器の保守業務のみならず備品、消耗品等も会計法に基づき適正に調達しているところであるが、点検結果等を参考に、施設の安定的かつ安全な運用を行える中・長期的な維持管理計画を検討、消耗品の一括購入等より効率的な予算執行を検討すること。				
	改善の方向性	施設の安定的かつ安全な運用と予算の削減を両立させるために、従来の保守点検委託および備品購入、消耗品購入のシステムの見直しを行った。保守点検業務委託については年間契約のみならず、随意契約により予算の削減をおこない、備品購入についてはその必要性や費用対効果などを勘案して購入を行う方向とした。また、消耗品については年間使用量の適切な把握と代替品の検討などを含めて、引き続き改善に取り組んで行く。村山庁舎とも共通の計画を策定し、費用の削減に取り組んで行くのが有効であると考えている。				
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	国立感染症研究所の運営に必要な経費であるため、引き続き、必要な予算を確保し、適正な執行に努めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	-					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	620	平成23年度	561	平成24年度	498	
平成25年度	880	平成26年度	880			

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.			E.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0
	B.			F.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			G.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.(株)武陽ガス			H.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	光熱水料	ガス供給	44			
	計		44	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	委員A	会議出席謝金	0.1	-	-
2	委員B	会議出席謝金	0.1	-	-
3	委員C	会議出席謝金	0.1	-	-
4	委員D	会議出席謝金	0	-	-
5	委員E	会議出席謝金	0	-	-
6	委員F	会議出席謝金	0	-	-
7	委員G	会議出席謝金	0	-	-
8	委員H	会議出席謝金	0	-	-
9	委員I	会議出席謝金	0	-	-
10	委員J	会議出席謝金	0	-	-

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	職員A	職員旅費	0.3	-	-
2	職員B	職員旅費	0.2	-	-
3	職員C	職員旅費	0.2	-	-
4	職員D	職員旅費	0.1	-	-
5	職員E	職員旅費	0.1	-	-
6	委員A	委員等旅費	0.1	-	-
7	職員F	職員旅費	0.1	-	-
8	職員G	職員旅費	0.1	-	-
9	職員H	職員旅費	0.1	-	-
10	職員I	職員旅費	0.1	-	-

C

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	特許事務所A	特許出願費用	0.2	－	－
2	職員A	国有特許発明補償費	0.1	－	－
3	特許事務所B	特許出願費用	0.1	－	－
4	特許事務所C	特許出願費用	0	－	－
5	特許事務所D	特許出願費用	0	－	－
6	職員B	国有特許発明補償費	0	－	－
7	職員C	国有特許発明補償費	0	－	－
8	特許事務所E	特許出願費用	0	－	－
9	職員D	国有特許発明補償費	0	－	－
10	職員E	国有特許発明補償費	0	－	－

D

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	武陽ガス(株)	ガス供給	44	1	99.9%
2	(株)豊島製作所	機器修理	0.5	随意契約	－
3	(株)豊島製作所	機器修理	0.4	随意契約	－
4	(株)豊島製作所	消耗品購入	0.3	随意契約	－
5	(株)アベバイオロジカルリサーチ	消耗品購入	0.4	随意契約	－
6	(株)アベバイオロジカルリサーチ	消耗品購入	0.4	随意契約	－
7	(株)アベバイオロジカルリサーチ	消耗品購入	0.3	随意契約	－
8	(株)アベバイオロジカルリサーチ	消耗品購入	0.1	随意契約	－
9	(株)池田理化	消耗品購入	0.5	随意契約	－
10	(株)池田理化	消耗品購入	0.3	随意契約	－
11	(株)池田理化	消耗品購入	0.3	随意契約	－
12	東西化学産業(株)	消耗品購入	0.3	随意契約	－
13	東西化学産業(株)	消耗品購入	0.3	随意契約	－
14	理科研(株)	消耗品購入	0.2	随意契約	－
15	理科研(株)	消耗品購入	0.2	随意契約	－
16	理科研(株)	消耗品購入	0.1	随意契約	－
17	理科研(株)	消耗品購入	0.1	随意契約	－
18	堀内電機(株)	備品購入	0.2	随意契約	－
19	堀内電機(株)	備品購入	0.2	随意契約	－
20	堀内電機(株)	備品購入	0.1	随意契約	－
21	(株)チヨダサイエンス	備品購入	0.4	随意契約	－
22	(株)薬研社	機器修理	0.2	随意契約	－
23	(株)薬研社	備品購入	0.2	随意契約	－
24	(有)エノモト	消耗品購入	0.2	随意契約	－